

ホウビシダ

Hymenasplenium hondoense (N.Murak. et S.-I.Hatan.) Nakaike
チャセンシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

現在知られている生育地は2か所で、個体数が少ない、しかし嶺南地方のものはシカによる食害がみられるため県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

分 布

全国分布は本州（石川県、千葉県以西）～九州。県内分布は嶺北に1か所、嶺南に2か所確認したが、嶺北の生育地は北限に近い。

種の特徴

常緑性のシダ類。山地のやや湿った岩上に着生する。根茎は長くは、葉をまばらに出す。葉の高さは30cm前後になり、葉柄と葉軸は黒褐色、葉身は単羽状。羽片の形は変化がある。葉縁には浅い鋸葉をもち、胞子のうは羽軸と辺の中間に生じる。

生育を脅かす要因

開発、採取圧、シカの食害。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○								○				

ツクシャワラシダ

Thelypteris hattorii (H.Ito) Tagawa var. *nemoralis* (Ching) Sa.Kurata
ヒメシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

ヨコグラヒメワラビに似て、やや稀に生育している。岐阜県～九州まで記録されている。日本海側には記録がない。県内ではあわら市のみの生育のため県域絶滅危惧Ⅰ類とする。

分 布

全国分布は本州（岐阜県以南）、四国、九州。県内分布はあわら市。

種の特徴

夏緑性のシダ類。葉柄の色が淡緑色で、紫褐色をおびず、葉柄、中軸、羽軸は表面に短毛があり、裏面は無毛という点で異なっている。検討を要する。

生育を脅かす要因

開発、管理不足。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				

トゲカラクサイヌワラビ

Athyrium setuligerum Sa.Kurata
イワデンダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県を北限として分布。生育地、個体数も少なく産地局限である。県域絶滅危惧Ⅰ類とする。

分 布

全国分布は本州（静岡県、福井県、中国地方）～九州。県内分布は、3か所のみ。

種の特徴

カラクサイヌワラビとホソバイヌワラビの中間的な形態をもつもの。夏緑性のシダ。葉柄は緑色、羽軸の表面は無毛で葉の高さは60cm前後。基部には茶色で披針形の鱗片を密生。葉身は2回羽状。表面の小羽軸にはとげをもつ。胞子のうは中肋よりに位置する。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事、産地局限。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															○